

令和5年度 学校経営報告

【令和5年度の重点目標】

1 新学習指導要領に基づく授業力の向上

- (1) 人権を尊重した適切な指導の徹底
- (2) 人材を活かした教育活動の充実：

評価：人権尊重教育の徹底について、保護者等からの苦情は無いが教員間で苦情があり継続して指導を行った。互いに注意し合える環境、主幹教諭の必要以上の遠慮を排し、今後も児童・生徒及び教員間からの申し出を行いやすい環境設定を行い教職員が自己浄化を進める取り組みを工夫する。

ICT 機器活用教育推進では「準ずる教育課程」在籍児童・生徒を対象とした教育庁指導部特別支援教育課指定事業3種を受託し2年目となる。ICT 関連分野コンテスト等において高等部複数生徒が受賞、確実に成果を挙げている。校内研究では各教育課程内児童・生徒の ICT 活用能力向上について研鑽を行い、全校教員の90%が昨年度よりも技能向上したと肯定的評価をつけた。重度児童・生徒への ICT 機器活用の工夫について継続して今後の課題とする。

項目		重点目標、方策 等	数値目標等	評価
学習指導	1	人権を尊重した適切な指導の徹底、児童・生徒へ適切な言語環境を提供する指導の徹底	保護者等による苦情ゼロ	目標は達成、各指導単位毎の定期的なチェックを継続する
	2	外部専門員や教育庁事業を活用した ICT 機器活用教育推進と全教職員の ICT 活用能力向上： 教職員肯定的評価80%以上 教育庁指導部特支課事業：デジタル教科書活用指導の充実(2年次) 他校との共同遠隔指導の充実 大学連携デジタルアートの充実 研究会等ポスター発表等による共有	教職員肯定的評価80%超 高等部生徒複数受賞	目標達成、新規転入等人材育成に努め教職員全体の活用能力を維持向上させる

2 児童・生徒一人一人のニーズに応じたキャリア教育の充実

- (1) 全体計画に基づいた系統性のあるキャリア教育の推進。
- (2) 保護者及び関係機関と学校の連携を強化・充実し、児童・生徒の進路指導を充実させる。

評価：肢体不自由特別支援学校進路指導の中心となることができる教員が不足している。学部の人材育成が今後も課題である。計画的な情報発信と PTA と連携した進路見学、生徒会役員を活用した学部紹介や学部案内等、児童・生徒の教育活動と連動した活動を検討する。

項目		重点目標、方策 等	数値目標等	評価
キャリア教育	1	キャリア教育の手引きや進路便りを活用した教員、保護者指導の充実	教職員理解向上肯定的評価80%以上	数値達成しているが情報提供質の向上を目指す
	2	卒業生・卒業生保護者、区行政等と連携した進路説明会や進路懇談会の実施	教職員理解向上肯定的評価80%以上	数値達成、内容さらに強化・工夫する。

3 健康・安全な教育活動の推進

- (1) 教育活動全般を通じた防災教育や地震災害に備えた実践的な危機回避教育を推進する。
- (2) 教員や学校介護職員と医師、看護師等が連携し、健康観察、医療的ケアを安全に実施する。

評価：クラスターは生じていない。今後も予防対応を継続しクラスター発生を抑止する。次年度後期以降、学校行事来校者範囲の段階的拡大を検討する。危機管理マニュアル改訂をすすめ、近隣消防署、市区町村防災担当者との連携を今後も強化し、より実効的な訓練を工夫して実施することが必要である。医療的ケア事業については改訂される指針に基づき、本庁各部署と連携し、安全第一で円滑な実施をすすめる。

		重点目標、方策 等	数値目標等	評価
安全指導	1	① 防災教育推進委員会、区防災課や地域と連携した実効的避難訓練の充実 ② 学区3区拡大地図バスコース及び児童生徒居住表示作成 ③ 備蓄品等を活用した教職員訓練の実施2回以上実施	教職員訓練2回実施	目標達成、実効的訓練の工夫、危機管理マニュアル改訂を行う
	2	小トラブルの迅速な報告及び分析による事故防止の徹底	事故ゼロ	負傷事故1件、再発防止策周知を徹底する
健康指導	1	学校感染症をはじめとする安全衛生対策の徹底	クラスターゼロ	数値目標達成
	2	医療的ケア実施指針及び各種ガイドラインに基づく安全で適切な実施。新規医療的ケア各モデル事業の安全な実施。	事故ゼロ、モデル事業の円滑な実施	数値目標達成
特別活動	1	児童・生徒の実態に応じた教科横断的な目標を活かした各種行事の安全な実施と確実な評価	次年度後期以降観客範囲等拡大を検討する	
	2	各種展示会コンテスト、コンクール、検定等への出展及び受検等機会の増数	受賞数増加各種コンテスト等の積極的参加	

4 専門性のある人材を活用した特色ある教育の充実

- (1) 外部専門員の活用による自立活動、個別学習の充実を図る。
- (2) オリンピックパラリンピック教育の成果として学校レガシーを活かしたスポーツ志向、芸術文化に親しむ指導の充実を図る。

評価：担当者の分掌業務化により自立活動にかかわる外部専門員を固定化しケース会実施により情報共有を進めることができた。全校児童・生徒に均等な回数と必要な内容が提供できるよう調整する。2020学校レガシー推進校として教育委員会より事業指定を受けたことで各種アスリート招聘を実施することができた。令和5年度から令和7年度まで文化庁ユニバーサル観劇事業継続実施校として選定された。令6、令7は計画的に複数教科を見通して事前事後学習を計画し有効な学習を進める。

項目		重点目標、方策 等	評価
特色ある教育活動	1	外部専門員等による個別の指導、自立活動の円滑な調整と情報共有の工夫	自立活動において外部専門員概ね固定、ケース会実施できた
	2	オリンピック・パラリンピック学校レガシー：アスリート等の招聘によるスポーツ志向ほか日本の伝統文化やアートプロジェクト、総合文化祭、文化庁事業等芸術に関する教育の推進	ヨガ、相撲、ダンス、観劇、日本伝統音楽、移動博物館 計画的な学習としづらかった。計画的な学習として成果を整理することが必要である。

5 特別支援教育のセンター的機能の充実と地域と連携・協働した取組の推進

- (1) 地域の教育委員会、地域の小・中学校や高等学校と連携し、教育相談や交流活動を実施し共生社会の実現をめざす。
- (2) 学校ホームページを活用し、学校教育活動を適時・迅速に発信する。

評価：放課後等デイサービス各事業所との連携は、災害発生時等を想定した連携及び訓練が必要である。円滑に確認を行えるよう整備する。近隣交流校等との連携では4年ぶりに地域小学校児童との交流教育を推進することができた。障害者スポーツを活用した地域交流の推進も地域の尽力があり実施することができた。今後、特設予算が配布されなくても継続できるよう工夫することが重要である。区教委、他特支への情報提供を行い研修実施支援を行った。

項目		重点目標、方策 等	評価
地域交流等	1	地域交流校との展示会及び出前授業の推進 障害者スポーツを活用した地域交流の推進 区教委、他都立特支連携による研修の実施	目標は概ね達成
	2	就学前機関や放課後等デイサービス、関連機関との確実な 情報共有	情報共有しているが有事の際に機能するよう整備強化が必要

6 学校経営と組織体制の強化

- (1) 法令等規則を遵守し、個人情報の適正で組織的な管理を徹底する。
- (2) 組織として業務の効率化を図るとともに、安全で健康的な働きやすい職場環境を整備する。

評価：個人情報紛失事故をはじめ服務事故ゼロ継続。児童・生徒の怪我1件発生、環境設定の整備をはじめ再発防止策を周知徹底した。主幹教諭が所掌する分掌等においては組織目標の理解が徐々に進み達成率も昨年に比べ向上しているものの、学部内業務、分掌業務は未だ整理されておらず、業務削減も遅滞している。目標設定の再考が必要である。

項目		今年度の取組目標、方策	数値目標等	評価
学校運営・組織体制	1	児童・生徒重大事故ゼロ、個人情報紛失事故ゼロ、 服務事故ゼロ	事故ゼロ	事故防止研修年間 5回実施、児童生 徒負傷1件
	2	職層及び教職歴等をふまえた確実なOJTの推進	研究授業参観人数増、監督層による ミドルリーダー育成が課題	
	3	分掌及び各学部・委員会・教科会等業務の精選	情報管理等新規事業拡大に対応する 部署検討を行う	
	4	休憩時間取得の徹底、年休15日以上取得の推進	年度末常勤教 員87%達成	90%目標わずかに 届かず、計画的な 年休取得定着した